

不撓不屈

発行 釜石市立唐丹中学校

第6号

唐丹町字小白浜314

電話 0193-55-2106

文責 校長 八木稔和



学校教育目標 誠実・健康・努力



国道清掃でSDGsを考える

5月30日、51回目の国道清掃を唐丹小5、6年生と一緒にを行いました。開会行事で生徒会長の岩澤優真さんから「今日は5月30日、『ゴミゼロ』の日です。安全を第一にしながら道路清掃をみんなでがんばりましょう」とやる気を喚起するあいさつのあと、39名の児童、生徒は3つの大きなグループに分かれて清掃活動に取り組みました。

1時間後、校庭にたくさんの分別されたごみが入った袋が集まりました。今年の国道清掃で集まったごみはなんと41.5キロにもなりました。



本郷地区

活動を通して感じたことや唐丹の未来のためにできること

唐丹にたくさんゴミが落ちているのが分かったので、ポイ捨てしないことにプラスして見つけたら拾うことを心がけたい。

(1年 小野愛姫さん)

自分で使ったものは自分で責任をもってごみ箱に捨てたり、片づけたりしたい。(1年 小川原空騎さん)

普段ゴミが落ちていても見て見ぬふりをしてしまっていたし、たばこの吸い殻が多くてびっくりしたので、これからはゴミが落ちていたら積極的に拾っていきたいです。(2年 佐々木優衣さん)

1回のごみ拾いで終わらせるのではなく、2回、3回と続けていけるようにしたいです。周りの人も巻き込んで活動したいです。

(2年 千葉香朋さん)

前回よりたくさんのごみを拾って町をきれいにすることができたので、この状態を保てるようにこれからも気を付けていきたいと思った。(3年 青山準佑さん)

唐丹には自然が多いから、この自然を守るためにも、家の人や身近な人にも環境保全を呼びかけていきたい。(3年 岩澤優真さん)

まだ使えそうなものだったり、中身が入っているもの、使っていないと思われるものもあったので、かなりもったいない(無駄がある)と感じた。(3年 川原悠翔さん)

ゴミが昨年より増えていた。SDGsの活動を通してもう少しごみを削減する活動を増やしてみたいと思った。

(3年 高橋愛里さん)

ゴミがあると自然環境が崩れてしまうため、外で出たごみは外にあるごみ箱に捨てたり、家に持ち帰って処分すべきだと思った。

(3年 留畑史花さん)



さくらトンネル内



小白浜地区



小白浜地区